

農林26号 Ni26

早期高糖で12月収穫も可能

- 発芽、生育初期からの茎伸長が良く、茎数が多く、特に株出でF161よりも多収となり、風折抵抗性(耐風性)もあり、バランスの良い品種です。
- F161に比べ早期から糖度が高く、年内収穫時に重宝します。



ケーンくん

農林26号(Ni26)は、平成20年に
沖縄県南北大東島向けの
奨励品種に採用されました。

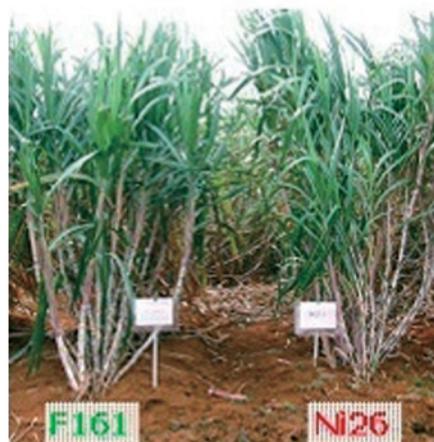
■主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
Ni26	中	やや強	中	中	中	中
F161	やや良	中	やや良	極少	やや弱	中
NCo310	中	中	中	中	中	難

■病害虫抵抗性

	黒穂病	葉焼病	さび病	メイチュウ抵抗性
Ni26	弱	やや強	強	やや強
F161	強	強	強	中
NCo310	弱	中	弱	中

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



左:F161

右:Ni26

栽培上のワンポイント

- 黒穂病に弱いので、黒穂病が多発生するほ場での栽培は控えると同時に、栽培に際しては健全種苗の利用、苗の消毒、発病株の抜き取り等の管理が必要です。
- 早期収穫(12月)を行う場合、新植の糖度、収量の確保のため、夏植え型で栽培を行いましょう。



協力：沖縄県農業研究センター (独)農研機構九州沖縄農業研究センター